

■登場人物

主人公① ライト(8→15)

●物語を通じての成長/変化：

巷に溢れる数多の情報を信じ、それで世界を知ったつもりになり、自分の世界を狭めてしまっている

↓

広い世界に出て、色々な事を経験したいと思う様になる
(=旅という「夢」を見つける)

カントー地方・セキクシティ付近にある「育て屋(ポケモン牧場)」の一人息子。
他人の話や、ネットなどで手に入る情報に対して、疑うことをせず、信じてしまう
ピュアな性格。

8歳の頃、『ジジ』というトレーナーからピカチュウを預かる。
それは、普通のピカチュウよりもぽっちゃり体型な『ぽちゃピカ』。
(現在のピカチュウの姿ではなく、1996年当時の姿をイメージ)
ぽちゃピカは、ライトを嫌っているわけではなさそうだが、気に入らないことがあると
ゲシゲシ蹴るし、気まぐれだし、イマイチ、何を考えているかわからない。
ネットでピカチュウの生態について色々調べてみるが、全くセオリーに当てはまらない。
なんだか不思議な存在。

現在は15歳。

10歳で周囲が旅立つ中、家業の手伝いを続けてきた。
トレーナーたちのSNSで旅の様子を知り、自身も旅を経験した様な満足感を感じており、
そうして知らず知らずに自分の世界を狭めていることに、ライト自身は気付いていない。

7年も預けられ、「育て屋」の最古株となったぽちゃピカについては、
うっすらと「トレーナーに捨てられた」と思っている。
そんな時、送られてきた預け主・ジジからのメール。
ジジにぽちゃピカを届けるため、初めて地元を出て、
カントー地方で近年急速に発展した大都市・シコンシティに向かうことになる。
大規模なフェスを数日後に控えた街を堪能していると、謎の男に追われることになり、
逃走の中で少女アカリとそのポケモンに助けられる。
なんとか逃げ切り、アカリと別れ、登録された住所を頼りにジジの家に行くと、

そこにいたのは、アカリ！？
アカリはジジの妹であり、なんとジジは既に死んでいると聞かされる。
死んだ人間からメールが来たってこと！？
ぽちゃピカはどうすれば！？
困惑のライト、そしてアカリ。
かつてミュウをゲットしたとして世間を騒がせたジジ。
その妹であるアカリの想いを知ったライトは、兄の名を語る誰かを突きとめたいと
考える彼女を手伝うことに。

ジジの親友・シンも巻き込み、真相を探っていくライトとアカリ。
そんな中、シコンシティに暮らすトレーナーたちの図鑑に、ミュウとすれ違ったという
エンカウントの証が次々と現れる事件が。一方、ジジが遺した古いポケモン図鑑が見つかり、そこにはジジがミュウをゲットしたという証が残っていた！

カントー地方を舞台に、迫りくる謎の男(ジジのもう一人の親友・ギル)の妨害、
強くなっていくぽちゃピカとの絆、深くなっていくアカリとの関係。
トレーナーとしても目覚め、成長していく。
(育て屋の経験や知識が活きる展開に)

シンが開催する、人間とポケモンの祭典を舞台に、いくつもの思惑が重なり、
大きな事件が巻き起こる。
それを阻止するために決意し、動き出すライト。

事件終焉後、ぽちゃピカを野生に返し、ミュウの姿に戻り飛び去る姿を見送る。
物語を通じて、様々なものを自分の目で見て、耳で聞いて、心で感じたことで、
広い世界に興味を持ったライトは、冒険の旅に出る。
そんなライトが歩む道の先には・・・ぽちゃピカが待っていた。
初めてのゲットを果たし・・・少年の旅が、始まる。

主人公② アカリ(10→17)

●物語を通じての成長/変化：

「ウソツキ」と呼ばれた兄の事件の影響で、本当の意味で人やポケモンを信じられなくなっている

↓

兄の真実を知り、過去を受け入れ、心から信じる強さを手に入れ、前へ進める様になる。
(真にパートナーポケモンと向き合えるようになり、深く絆を結べるようになる)

カントー地方・シコンシティ出身。

パートナーポケモンは兄から受け継いだ、フシギソウ。

他にピジョットやゲンガーなど。

一見悩みなど無い様な明るい少女。

だがその奥底には、世間に「ウソツキ」と蔑まれ、自分を置いて死んでしまった兄・ジジの存在が影を落としている。

5歳の頃、両親を事故で亡くしており、以後、大好きな兄・ジジがポケモントレーナーとしての旅から戻り、親代わりとして育ててくれた。

10歳の頃、ジジがミュウをゲットしたとして一躍有名人となる。

が、後にそれは事実ではなく、嘘だったと本人が釈明。

一夜にしてジジは「ウソツキ」と呼ばれ蔑まれることになる。

アカリにもその余波があり、クラスメイトや仲間たちから「ウソツキの妹」として陰口を叩かれツライ日々を過ごす。そんな中、兄ジジが他界。

バッシングはおさまったが、シコンシティにいることに耐えられなくなったアカリは、トレーナーとして旅に出る。

誰にも虐げられない様に、笑顔という仮面をつけ、バトルの実力を磨く日々。

現在は17歳。

カントー地方の8つ目のジムバッジを手に入れるため冒険中。

ジジの死後世話をしてくれた兄の親友・シンを心から信頼しており、彼の主催するフェスに参加するために、シコンシティに帰ってきた。

そんな中、謎の男(ギル)に追われているライトと出会い、救う。

その後、自宅を訪ねてきたライトと再会。

兄の名を語る不屈きものを見つけてやる！と、ライトを巻き込んで動き出すアカリ。

その旅の中で、兄が本当はミュウをゲットしていたことを知り、

兄を信じきれなかった自分を責め、兄の死の真実を知りたいと願う。

一方で、ライトとぽちゃピカの関係と、自分とフシギソウの関係を比べ、悩むアカリ。妹である私が、兄のポケモンとうまくいっていないのに、なんでライトはぽちゃピカと確かな絆を結び、前へ進んでいるの？と。

物語が進む中で、ジジ、シン、ギルの真実を知り、自分が何も見えていなかったのだと痛感し、立ち直れないほどのショックを受けるが、ライトやポケモンたちの後押しにより復活、前に向かって進むと決意する。

事件終焉後は、8個目のバッジを獲得するべくジムチャレンジを再開する。

●今回の物語で行いたいこと：

【表】人とポケモンの絆の祭典「キズナフェス」の開催と盛り上げ

【裏】①ジジの「ウソツキ」という汚名の返上

②ジジを死に追いやった「顔の见えない者たち」への復讐

カントー地方出身。

パートナーポケモンはカメックス。

他にアーボックなど。

アカリの兄ジジの親友の一人。

柔和で常に笑顔を絶やさない好青年。

「人生は選択だ」をモットーにしており、折々で自分にも他人にも選択を迫る。

ポケモンリーグ●●大会・準優勝の実力者で、ルックスの良さもあり、

現在ベースとしている街、シコンシティの人気者である。

その人気を背景に、数年前から、人間とポケモンの絆を具現化することを目指した祭典

『キズナフェス』を主宰、今年度は過去最大の規模で、シティ行政側と組み、

街全体を活用した祭典となる予定。

そんなフェスを数日後に控え、多忙な日々を送っている。

フェスの開催など、前に前に進んでいる様で、実は最も過去に囚われている男。

ミュウの事件で、ジジを「ウソツキ」と誹謗中傷し死に追いやったネットに蔓延る悪、

「顔の见えない者たち」への復讐に駆られ、死後7年間計画を練り続けてきた。

その舞台こそが、今回のフェス。

実はフェスの開催日は、ジジの命日でもある。

7年の間に、ジジがライトの実家の育て屋にミュウを預けたらしいということを

調べており、ジジを装ってメールを出した張本人。

ミュウ自体に興味はなく、ライトとミュウは、復讐を完遂するための一つの駒だと

考えている。

そして「顔の见えない者たち」とともに、絶対におびき出したいのは、

ジジのもう一人の親友ギル。

シンは、ギルこそがジジの死の真相を知る、もっと言うなら、直接死に追いやった人間

だと疑っている。

フェスの当日、ライトとミュウを餌に、シコンシティのランドマーク的な建造物、

関東屈指の巨大ポケモンセンターに「顔の见えない者たち」、そしてギルを集めるシン。

彼らの醜い心や姿を全世界にライブ配信しながら、パートナーポケモンの命を差し出せば、自らの命は助けてやると、究極の選択を迫る。

実は、ジジがミュウをゲットしたことを世間に広めるきっかけになったのはシン。それは、不世出の天才トレーナーである親友ジジを世の中に知って欲しかった、称えてあげたかったという理由。

「顔の见えない者たち」やギルを断罪するとともに、最終的にはきっかけを作った自分自身をも肅清しようとしていた。

ジジはきっと自分を恨んで死んでいった、と思っているが・・・それは違う、とギルに諭される。

（普段はメガネをかけていて本性を現した時に外す、もしくは糸目キャラで本性を表す時に目を開く、などの画的な差異が欲しい）

●今回の物語で行いたいこと：

亡きジジの最期の言葉に従い、アカリやミュウ、そしてシンを守りたい

カントー地方出身。

パートナーポケモンは(片目に傷のある)リザードン。

アカリの兄ジジの親友の一人。

ジジの死後、行方をくらませ、アカリ・シンと一切連絡を取らずにいた。

ライトやアカリと時を同じくして、シコンシティに姿を現す様になり、

様々な局面でライトとアカリを妨害する。

昔は豪快で明るい男だったが、今では冷たい瞳を持つ、多くを語らない男に変わっている。

実は、ジジの死の直前、真実を打ち明けられており、ミュウを、

そしてアカリを守って欲しいと頼まれていた。

ジジの死後、遺族であるアカリがミュウを引き継いだのではないかと考える人々の過激な行動から、本人に知られることなく彼女を守っていた。

ライトの実家の育て屋にミュウが預けられていることも直接聞いており、

現在も監視の目を光らせているが、現在ミュウが「その姿を変えている」ことは知らない。

(死の直前なので聞くことが出来なかったなど、理由は一考)

ジジの死に取り憑かれているシンの言動を怪しんでおり、

ミュウを預けたライトが、ジジの持つオリジナルペイントのモンスターボールとともにシコンシティにやってきてしまったこともシンに関係があると考え、

『この街から出ていけ』とライトを脅し、時に過激な行動に出る。

・・・が、結果的にはシンの元に全てのピースが揃ってしまう。

親友ジジの最期の言葉を守るため、そして自らの親友でもあるシンを止めるため、自分の命を賭して奔走する。

ジジ(享年 20)

カントー地方・シコンシティ出身。

パートナーポケモンはフシギソウ、ぽちゃピカ(本物)など。

困っている人やポケモンは放っておけない、超いいやつ。

「すぐ隣にいる奴には絶対笑っていてほしい。両手で抱きしめられるところにいる奴らには傷ついてほしくない。んでもって、世界中の人間とポケモンが幸せな日々を送れるようになったらサイコー！」・・・と思っているような男。

15歳の時、両親が事故で亡くなったのをきっかけに、妹であるアカリの傍にいたために、旅を止め、シコンシティに帰って来た。

けして裕福な家庭では無く、ジジ自体もまだ幼かったため、生きるために、時にグレーな仕事にも手を染めたりしながら、アカリを育ててきた。

(ポケモンを愛しており、ポケモンが傷つくようなことはしなかった)

20歳の時、受けた依頼がポケモンを傷つけるものだを知ったジジは、依頼者を裏切り、ポケモンたちを逃がすが、裏切り者を始末しにきた追跡者からの逃走の中で、崖から転落し、ぽちゃピカが深く傷ついてしまう。

逃げつつもポケモンセンターに走るジジだったが、ぽちゃピカは虫の息・・・。

「絶対にこいつを助けてやる！」

清く、強い願いが、一つの奇跡を呼ぶ。

ジジの前に幻のポケモン・ミュウが現れ、その力(いやしのはどう など)で、ぽちゃピカを助けてくれたのだ。

元気になったぽちゃピカ。

お遊びでぽちゃピカに化けるミュウがいたり。

ジジとミュウは絆を結んでいき、やがて珍しいペイントが施されたジジのモンスターボールに入ってみること自体に興味を持ったミュウを、ゲットする。

旅の最中にいる親友二人・シン&ギルに、その事実を話すジジ。

ジジがミュウをゲットしたと SNS に投稿したのはシン。

ただただ誇らしい想いと、不世出の天才ジジを世に知らしめる目的からだったが、当時から人気者になりつつあったシンの投稿は注目を集め、ジジは一躍時の人に。

SNS ではジジをヒーロー扱いする人が多かったが、ミュウを狙う過激な輩も集まって来た。このままではミュウは勿論、自分や妹のアカリも危ない。

ミュウを野生に返そうとするが、ジジに懐いているミュウはすぐに戻ってきてしまう。

そこで・・・ジジは二つの行動に出る。

一つは、ほとぼりが冷めるまで、かつて旅の途中で立ち寄りお世話になった人(=ライトの祖父)がいる育て屋に、『姿を変えたミュウ』を預けに行くこと。

そこでライトと運命的に出会い、彼に託す。

（ジジがライトに、ライトがジジに何かを感じ、残すような出会いのエピソードを一考）
「必ず迎えに来る。それまでその姿でライトと一緒にいてくれ」
とミュウに言い残す。

もう一つは、「嘘をついた。ミュウをゲットなどしていない」と告白した動画をSNSに投稿すること。

投稿の結果、ジジは稀代の「ウソツキ」と呼ばれバッシングされる。

妹のアカリも「ウソツキの妹」と非難され、想像もしていなかった不幸な状況に陥る。

そして「顔の見えない者たち」に精神的に追い詰められたジジは、ミュウ、そしてアカリを守るには「己が消えるしかない」と考える。

（その判断は正しいものとは描かない。追い詰められたが故の思考という描写に）

工事中の高層ビル（のちのポケモンセンター）の屋上に登るジジ。

登りながらギルと通話、事の全て、そしてミュウとアカリ、そしてシンを頼む、と伝える。

（シンは騒動のきっかけを作っており、己を責めている。だからギルだけに後を頼んだ）

「そんなんで、誰かの幸せを作れると思うなよ。死ぬな。生きろ。生きてれば、みんながいる、アカリがいる、シンだって、俺だっているだろ・・・！」

ギルの説得に心を動かされ、考えを改めるジジ。

だが、そこに突風。

煽られたジジはビルから転落し・・・帰らぬ人となった・・・。

ミュウ

ジジと運命的に出会い、絆を結んだ幻のポケモン。

「必ず迎えに来る。それまでその姿でライトと一緒にいてくれ」とジジに言われ、その姿を変えて、ジジを待っている。

悠久の時を生きるミュウにとっては一瞬の様な7年。

ライトとは前述のジジの願いを聞き入れて一緒にいてあげている・・・がベースにあるが、本音では気に入っていて、自分が遊んでやっているという感覚。

愛情の裏返しとしてゲシゲシ蹴ったりする。

ライトの中に、ジジと似た部分を感じており、また物語の中でライト自身と向き合うことで彼を知り、絆を育ててゆく。

本作では、その存在は広く認知されているが、実際にゲットしたものはいないという、『ツチノコ』の様な存在として設定する。

■用語

シコンシティ

名前の由来は「紫紺色」から。

現代の渋谷が、ポケモンとの共生用にアップデートされたイメージの街。

大企業同士による熾烈な開発競争によって、近年急激に発展を遂げた。

流行・ファッション・音楽など、様々な最先端のカルチャーが生まれる。

スクランブル交差点には街のシンボリックな建物、

世界屈指の巨大なポケモンセンターが建っている。

その横には主にポケモンバトルに使用されるスタジアムが隣接。

(ポケモンセンター&スタジアムは現実世界でいう渋谷駅の位置にあるイメージ)

一方で、河川や公園などの自然を街に融合させており、

人間とポケモンが楽しんで暮らせる街づくりを心がけている。

年に一度、人間とポケモンの絆の祭典『キズナフェス』が開催され、

これを目指して、カントー地方の外からも多くの旅行者がやって来る。

■プロット

[1] 7年前。ライトとジジの約束

カントー地方・セキクシティ付近の育て屋。

8歳のライトに、オリジナルペイントを施したモンスターボールを託す20歳のジジ。
(モンスターボールの柄は一考。以後『ジジボール』と記載)

ジジ「俺が戻るまでこいつを頼む。約束だ」

ライト「うん！」

そんな良い雰囲気映像の後に・・・その後起こった「悲劇」の映像がフラッシュ。

——工事中の高層ビルの屋上にいるジジ。

——どしゃぶりの雨の中でジジの屍を抱き叫ぶシン。

——スマホを叩きつけるギル。

——中傷の落書きだらけの建物で茫然自失の少女(10歳のアカリ)。

——何かを感じて空を見上げる8歳のライト、など。

[2] 7年後。ライトの日常

現在。15歳に成長しているライト。

カントー地方・セキクシティ付近にある実家の『育て屋』で、

おじいちゃんのお手伝い&ポケモンのお世話をする日々。

そんなライトは、今まで一回もポケモンをゲットしたことがないし、

10歳の時に旅にも出ていないが、

旅に出て自分でゲットしなくてもポケモンは身の回りに沢山いるし、

ネットなどでたくさんのトレーナーの体験は読めるし、

元々のピュアな性格もあり、これだけでも十分に満足していて、

知らず知らずに自分の世界や可能性を閉じてしまっている様な少年だった。

そんなライトの足をゲシゲシ蹴ってくる何か。

それはちょっとぽっちゃり体型のピカチュウ。

ライト「なんだよ」

ぽちゃピカ「ピカピカァ！（暇〜）」

遊んで欲しいぽちゃピカのプニプニしたお腹を指でツンツン。

ライト「うーん相変わらずプニプニだな〜」

プニプニしながら、スマホで『ポケモン ダイエット』とか検索するライト。

ライト「お！落書きダイエットってのが流行ってるんだって！」

ネットでバズっているダイエット法を試すライト。

ぽちゃピカのお腹に顔の絵を描いて「痩せろ〜痩せろ〜」と話しかける。

ぽちゃピカ「ピカピカァ！！（って痩せるか！！）」
ゲシッとライトを蹴って去ってしまうぽちゃピカ。
ライト「なんだよっ、お前の健康のためにやってるのにつ」
ぽちゃピカはもう7年もここに預けられたまま。
きっとトレーナーに捨てられたんだ・・・とうっすらと思っているライト。
何かを求める様に空を見つめているぽちゃピカ。その様子を見るライト。
ライト「・・・あのさ」
ぽちゃピカ「(ライトを見て)・・・」
ライト「プニ助って呼んでいい？ 全身プニプニだし・・・」
ぽちゃピカ「ピッピッピカァ！！（断る！！）」
再びライトをゲシゲシ蹴るぽちゃピカ。
彼らの他愛のない日常の風景。

[3]送られてきたメール

育て屋の事務所。
おじいちゃんはネットに弱いので、顧客とのメールのやりとりはライトの担当。
いつも通りメールチェックをしていると、
7年前ぽちゃピカを預けていった「ジジ」というトレーナーから
「シコンシティに、ぽちゃピカを届けてほしい」というメールが届いているのを発見する。
登録されているジジの住所は『シコンシティ』とある。
カントー地方で近年急速に発展した大都市だ。
おじいちゃんに頼まれ、渋々、ぽちゃピカをシコンシティに届けに行くことになるライト。

[4]ライトとぽちゃピカ

ぽちゃピカに、シコンシティ行きを報告するライト。
良かったな、やっとオマエのトレーナーが連絡してきた。
トレーナーに会えるぞ！と。
これもやっと返せる・・・と部屋に飾っていたジジボールを見るライト。
ぽちゃピカ用のはずだが壊れているのか、開かない。
・・・などの情報を提示しつつ、ぽちゃピカを連れていこうとする。
だが、なぜかテコでもその場を動かないぽちゃピカ。
首に縄をつけて引っ張ったりしながら・・・
ライト「ええ～！？なんだよもうっ、意味わかんないんだけど！？」
(テレビアニメ『無印』第1話オマージュ。
ぽちゃピカは、ジジが『迎えに来る』という約束だったので、この反応)

[5]出発するライト

セキチクシティから出るのが初めてなライトはドキドキと緊張。

スマホで、めちゃくちゃシコンシティの最新情報を仕入れまくる。

もうすぐシコンシティでは世界中の人間とポケモンが集まる祭典『キズナフェス』が行われることなどを知る。

出発を前に、おじいちゃんはライトに言う。

「情報収集するのはいいことだ。けどな、誰かに渡されたもんは掴みにくい。

お前の人生の荷物にするんなら、自分の目で見て、耳で聞いたもんにしろ」

おじいちゃんの言っていることがいまいちピンときていないライト。

だって、ネットで調べて、URL に飛ぶだけで、世界中の全てを知れるじゃん、なんて思う。

兎にも角にも、自転車に乗ってシコンシティへ出発！

[6] 大都会・シコンシティ

シコンシティに到着のライト。シコンシティの魅力的な街並みを描写。

(現代の渋谷がポケモンとの共生用にアップデートされたイメージ)

スクランブル交差点には街のシンボリックな建物、

世界屈指の巨大なポケモンセンターが建っている。

その横には主にポケモンバトルに使用されるスタジアムが隣接。

街をあげて「キズナフェス」の準備も着々に行われ、

街頭ビジョンにフェスのエキシビジョンマッチ「ダンデVSキバナ」の告知映像や、主催者であるシンのコメント映像が映っていたり。

「ほえ～」と、初めての大都会におのぼりさん状態のライト。

ぽちゃピカは渋々ついてきている。

[7] ライトとアカリの出会い

あちこちキョロキョロしながら歩くライト・・・の目の前に、

フードを目深に被った謎の男（ギル）が現れる。

男「帰れ…」

ライト「え？」

男「この街から出ていくんだ」

謎の男にヤバさを感じ、逃げるライト&ぽちゃピカ。

「ちっ」と舌打ちし追いかける男。

シコンシティを舞台に、謎の男&リザードンと、ライト&ぽちゃピカのチェイススタート。

(わちゃわちゃと綱渡りな感じで逃げるライトとぽちゃピカ。ぽちゃピカと一緒にいることで何故か起こる不思議な出来事)

土地勘が無いのですぐに行き止まりに追いつめられるライトたち。

そんな彼らに声をかけてくる少女(アカリ)。

少女「助けたほうがいい？」

ライト「え、えっと・・・いや、いいです」

少女「いいの？ どう見てもピンチっぽいけど？」
ライト「都会で親切な人間に会ったら詐欺だと思えってネットで」
少女「プッ！あはは！何それっ」
ライト「(少しムッ) みんな言ってるし」
少女「まあ、タダより怖いものはないってやつか。じゃあ交換条件！
その子のぷにぷに、触らせてよ」
気持ちよさそうなぽちゃピカを撫でさせてとお願いする少女。
ライト「え・・・こんなプニでいいなら」
少女「オッケ。交渉成立！」
ニッと笑ってピジョットを出し、ライト＆ぽちゃピカとともに飛び立つ少女。
男もリザードンで後を追う。
街中でのチェイススタート。
どうにも逃げ切れない！となった所で、男が、少女の顔を見てハッとする。
そして苦々しい顔で去っていく男＆リザードン。
「あれ？いなくなっちゃった」
なぜ男が去っていったかはわからないが・・・とにかくピンチは切り抜けた。

※チェイス時、目立つモブを何人か配置し、その横を通過する描写を入れる。
彼らは、[13]で、スマホロトムに「ミュウと遭遇した証」がついている人々として
再登場させる。

[8]逃げ切ったライトと少女

シコンシティの高層ビルの屋上。
シコンシティ全景を眼下に眺めながら、
少女「もう大丈夫そうだね。えっと、私はアカリ！」
ライト「助けてくれてありがとう。俺はライト」
アカリ「んじゃ早速・・・」
ぽちゃピカのプニプニボディを触ろうとするアカリ。
ぽちゃピカ「ピカァ～～！！」
逃げたうえに、ライトを不満そうにゲシゲシ蹴るぽちゃピカ。
ライト「ちょ、お前も助けてもらっただろっ！お礼にさっ」
ぽちゃピカ「ピカピカ！」
アカリ「あははは！喧嘩するほど仲がいいってやつ？」
ぽちゃピカとやりあうライト、大笑いのアカリで――

[タイトル]「劇場版ポケットモンスター ライト（仮）」

[9] ジジの家へ

スマホで地図を見ながら歩いているライト＆ぽちゃピカ。

育て屋に登録されていたジジの住所に到着。

そこは古めかしい不気味な建物。

(ポケモントレーニングジムの跡地。壁に描かれたグラフィティ。

実はジジへの誹謗中傷の落書きを塗り消したもののというイメージ)

恐る恐るインターホンを鳴らしてみると・・・現れた家主は、なんとアカリ。

「あれ？ ライト！？」

「アカリ、何で！？」

[10] ジジの行方と浮かび上がる謎

ジジに、ぽちゃピカ＆ジジボールを返しに来たことを話すライト。

アカリ「この子、お兄ちゃんのポケモン？　なんで・・・」

ライト「えーと・・・ジジさんは出かけてるの？」

アカリ「お兄ちゃんは・・・死んだわ、7年前に」

ライト「え！？」

驚愕の事実には驚くライト。

死んだ人間からメールが来たのはどういうことなのか！？

「・・・」

モヤモヤは残るが、ジジがいないとわかった今、

ぽちゃピカとボールは妹であるアカリに渡すのがベストだろう。

返そうとするが、ライトから離れようとしないぽちゃピカ。

ライト「ええ～！？　なんだよ！？」

ぽちゃピカ「ピカピカ！」

ライトにしがみつきながらもゲシゲシ！

ライト「痛い痛い、どっち！？　くっつきたいの離れたいの！？」

そんな二人の様子を見て、

「ホント、仲良いんだね・・・」と何か思うところありな様子のアカリ。

ジジの死後、ジジのポケモンは野生に帰したが、唯一、旅立ちのパートナーでもあった

『フシギソウ』だけはアカリが受け継いだ。

フシギソウとあんまり上手くいってないんだ・・・とポツリこぼすアカリ。

暗い表情のアカリを見て、放っておけないと感じるライト。

ライト「あの、さ・・・」

声をかけようとする・・・が、その時、グウ～～～～と盛大になるライトのお腹の虫。

プッと吹き出すアカリ。

アカリ「よかったら一緒にご飯食べる？　私もお腹すいたし」

[11]アカリの告白

ご飯を食べながら、少しずつ兄・ジジの話をし始めるアカリ。
(ポケモンたちはポケモン同士で木の実を食べたり、遊んだりしている)

——アカリ視点での過去回想。

7年前。兄・ジジがミュウゲットをしたと世間に公表された。
しかしその後、ジジは自らミュウゲットは嘘だったと発表し、
『ウソツキ』と激しい誹謗中傷にさらされる。
その後、工事中の高層ビルから飛び降りて自死。
アカリも『ウソツキの妹』と蔑まれる辛さから逃げるため、シコンシティを離れ、
負けない強さを求めてトレーナーとして旅に出た、など。

ライト「そう・・・だったんだ・・・」

最近、8個目のバッジに手が掛かり、自信もついてきたことで、過去の呪縛から逃れられ
始めたと思っていた・・・なのに、兄・ジジからのメールだなんて・・・
話しているうちにフツフツと怒りが湧いてくるアカリ。

「どこの誰だか知らないけど、タチ悪いよね！？ お兄ちゃんのふりするなんてさ・・・」

怒りの中に悲しみを滲ませるアカリ。そして、

「私、誰がそんなことしたのか絶対に突き止める！」

決心のアカリ。そしてライトに「助けた恩があるよね？」と協力を要請。

「え・・・」

「交換条件だったその子のプニプニにも触らせてもらえなかったし」

「この謎が解けない限り、私、絶対にこの子もボールも受け取らないからね」

グイグイくるアカリにタジタジなライト。

変なことに巻き込まれたくないなあ・・・と思いつつ、

ぽちゃピカの気持ちを想うライト。

ぽちゃピカはずっとジジのことを待っていた。

やっとジジに会えると思ったらジジはもういなかった。

こんな可哀そうな状態で、妹だからって安易にアカリに返そうとした自分は

馬鹿だったかも・・・。

反省し、ぽちゃピカ自身がアカリのそばで楽しく暮らせる！と思えるようになるまで、
アカリと行動を共にしようと決めたライト。

まずは、ライトのところに来たメールの発信元を調べてみよう！と。

しかし、そんなスキルはないライト＆アカリ。

ライト「どうする？」

アカリ「大丈夫。こーゆーのが出来そうな人、知ってる」

ライト「え」

アカリ「会いにいこう、シン兄に」

[12] シンという男

目的の人物のいるポケモンセンターに向かう、ライトとアカリ。

道中でシン兄こと、シンについて話すアカリ。

シンはかつてジジと同じ日に旅立った親友であること(withゼニガメ)、
ポケモンバトルの強者だが現在は引退し、この街で行われる「キズナフェス」の
主催者であること、など。

ジジの死後、様々な局面でアカリをサポートし、今のアカリにとっては恩人であり、
家族のような存在であることもわかる。

[13] シンとの出会いとミュウの出現

ポケモンセンター最上階のイベントホール。

球体の巨大モンスターボールの様な形をしている。

ここは「キズナフェス」のメイン会場の一つで、準備に忙しい様子。

シンにライトを紹介し、ぽちゃピカの存在&ジジのメールのことを伝えるアカリ。

シン「なるほど・・・これは偶然、必然、どちらだ・・・うん、必然だね」

ホール内のスクリーンに、ニュース映像を映し出すシン。

そこでは、[7]のチェイスの時にすれ違ったモブたちが興奮気味に話している。

(ニュース番組に出演するオーキド博士の姿なども)

解説するシン。

「今、シコンシティにいるたくさんのトレーナーのポケモン図鑑(スマホロトム)に、
ミュウとすれ違っていたという、エンカウントの印が残されているんだ」

アカリ&ライト「え!？」

調べると、アカリの図鑑にもエンカウントの印があることが判明。

死んだはずのジジからのメール、そしてジジの死の原因ともいえるミュウの出現。

今、何かが動き出していると感じる一同。

もしかして・・・『あいつ(=ギル)』が?何やら心当たりがある様子のシン。

その話も聞きたいアカリ。

しかし、シンは自ら「今はまだその時ではない」と選択し、話さない。

シン「それよりも・・・今この街にいるミュウが見つければ、世界中に向けて、ジジの汚
名を濯ぐチャンスになる。搜索にはフェスの実行委員会が全力で協力するよ」

アカリ「ありがとう、シン兄」

兄のことを思ってくれているシンを全面的に信頼しているアカリ。

シン、フェスに関わる行政や通信会社に働きかけ、

ジジのメールの発信元を調べておくことをアカリに約束。

アカリには、あらためて生前のジジの人間関係、ポケモン、縁の深い場所など、
妹の君にしか出来ない部分を調べてみて欲しいと依頼する。

[14] ジジの情報を求めてカントー地方巡り

ジジの足跡を辿るライトとアカリ。

旅をしている時代にポケモンバトルの特訓をしていた場所や根城にしていた街、シコンシティに戻って来てからの仕事関係の人々など、色々な場所を巡って情報を集めていく。

（訪れる場所や順番は一考。例えば・・・以下の様な場所や展開とか）

——ハナダシティ。

かつてジジが長く滞在していた街。

そこで目と目が合うだけでバトルを仕掛けてくるトレーナーに遭遇。

そのトレーナーは、かつてジジと何度もバトルしたことがあるトレーナーだとわかる。

アカリの連れているフシギソウがジジから受け継いだものだと知って、

「まだフシギバナになってないんだ！？ ジジと一緒にならすぐなれたんだらうけどなあ」と悪気なく言うトレーナー。

その言葉を聞き、悔しそうに唇を噛むアカリ。

「ジジは困っているポケモン&人を放っておけない性格」だったとか、

「ポケモンたちと信じあっていて本当にバトルが強かった」とか、

ジジの思い出話を聞くライトたち。

夜になり、この街で一泊することに。

「アカリのバトルだってすごいよな！」とライト。

しかし、アカリは浮かない顔。

深夜。宿泊先の屋上。

月明かりに照らされながら話すライトとアカリ。

ライトはかつて出会ったジジの印象を語る。

ライト「アカリにとってはどんなお兄さんだった？」

アカリ「前に話したので、私が知ってるのは全部。でも・・・」

ライト「・・・」

——ディグダトンネル。

ディグダトンネルを通してニビシティに行こうとするライトたち。

ここはジジのフシギダネがフシギソウに進化した場所。

そこで強いダグトリオに遭遇！苦戦するアカリ。

この場でフシギソウからフシギバナに進化させることを意識しすぎて空回りしてしまう。

お鉢が回って来たライトとぽちゃピカの初めてのバトル。

じめんタイプのダグトリオに対し、でんきタイプのピカチュウにそれさせる？

的な無茶なライトの作戦だが、ずっとぽちゃピカを見てきたライトには確信がある。

「プニ助ならやれる！」

そして、ダグトリオに勝利する。

ぽちゃピカ、ライトをゲシゲシしながらも、少しライトを認めた様な満足げな表情。
アカリ「・・・」

——トキワの森。

他のピカチュウたちと戯れるぽちゃピカ。やっぱりぽっちゃりだな～とか言うライト。
自分&フシギソウと比べて、うまくいっているライト&ぽちゃピカにモヤモヤするアカリ。
同じ兄ジジのポケモンなのに、ライトはうまくいって、なんで私は・・・。

トキワの森を出て、トキワシティまで目前というところで・・・再び謎の男と遭遇！

[15] 謎の男の正体

男が被っていたフードを取ると、その正体は・・・

昔とはすっかり風貌が変わってしまったが、ジジのもう一人の親友・ギルだった。
またチェイスが始まるかと思いきや、

「・・・お前が持っている、ジジのモンスターボールを渡せ」とギル。

あのボールは、今は壊れてるかもしれないけど、ぽちゃピカと兄・ジジの絆の証。
絶対にあなたには渡さない！と拒否するアカリ。

「ならば・・・」

カづくで奪うのみ！とリザードンでバトルを仕掛けてくるギル。
フシギソウでバトルを受けるアカリ。

アカリ&フシギソウ VS ギル&リザードン。

容赦ない攻撃を仕掛けてくるギル。

バトルはタイプ相性もあり、ギル&リザードンが圧倒的に優勢。

一方ライトは、優位でありながら、なぜか辛そうな表情をしているギルが気にかかる。
なぜあんなに辛そうな顔でバトルするのか・・・？

あの人には何か理由があるのでは？

そう思った時、とどめを刺されそうになるアカリだったが、
同時に街から観衆が集まってきて騒ぎになったことで、ギルは逃走する。

[16] ギルという男

ギルはシン同様、ジジと同じ日に旅立った親友（with ヒトカゲ）で、
ジジの死後、姿をくらまして、その後会っていなかった。

なぜ今になって現れたのか？

なぜ、最初はライトを地元に帰そうとし、今度はモンスターボールを奪おうとしたのか？

ここまでのジジに関して得た情報と、ギルの襲撃について報告するため、シンに電話をするアカリ。

「やはりか・・・」意味深に言うシン。

二人が再び危険に晒される前に、自分の手の届くシコンシティに戻る様に促す。
匿うための宿泊先をポケモンセンター内に用意するから、なるべく人通りの多いルートを使って、来て欲しいと。

[17] ジジのポケモン図鑑

夕方。自宅にお泊まり道具を取りに帰ってくるアカリ。

そんなの取りに帰ってる場合？との問いに、当然でしょ！と怒られるライト。

そんな時、屋根裏でガタガタと音。まさかギルが？と緊張感が走るが、そこにいたのは、ぽちゃピカ。

埃まみれの箱を持っている。その箱に入っていたのは・・・

アカリ「これって…お兄ちゃんのポケモン図鑑！？」

古びた図鑑の中身を見てみると・・・そこには、ジジがミュウを『ゲット』したという確かな証がはっきりと刻まれていた。

ライト「よかったじゃないかアカリ！ ジジさんは『ウソツキ』じゃなかったんだよ！」

アカリは喜んでいると思って声をかけるライト。

しかし、アカリは泣きそうな顔。

アカリ「う、うん・・・そう、だね・・・」

（アカリ自身も、心のどこかで兄が嘘をついていたと思っていたので、ショックを受けている状態）

[18] ライトの作戦

夜。ポケモンセンターにやって来たライトとアカリ。

シンに、ジジのポケモン図鑑発見を伝え、預けるアカリ。

ライト「ジジさんは本当にミュウをゲットしてたんです。でも、じゃあ何でミュウをゲットしていないなんて嘘をついたんでしょうか・・・」

シン「・・・それに関してはわからない。僕にはわからないが・・・おそらく、やつなら全てを知っている。ギルだ・・・」

ライト＆アカリ「え？」

シン「ジジのメールの発信元はまだ判明していないが、おそらく送ったのはギルだろう」
ギルについて話し始めるシン。

ジジが死ぬ直前まで電話をしていた相手、それはギルだ。

ギルはジジの死後、皆の前から姿を消した。

ジジの死の真相を知っている・・・いや、ジジを殺したのはギルなのではないか？

そう考えているシン。

ギルに会えば全てがはっきりする。

「これしかないか！」

ライトは、自らを囷にギルを誘き出す作戦を提案する。

囷になるのは危険だとアカリやシン。

もちろん危ないのは嫌なんで、自分で自分の身をちゃんと守れるようになってからね、とライト。バトルの特訓のための場所を借りる。

[19] ライトの特訓

アカリのポケモンを相手に、初めは全然うまくバトルできないライト＆ぽちゃピカ。

何か攻略法みたいなものないかな・・・とネット検索。

「このトレーナーはこんなことしてるらしい」「これ、効果的だって」

ネットで手に入れた情報を頼りに色々試してみるが・・・全く上達しない。

そんなライトとぽちゃピカの様子を見ていたアカリがふと、

アカリ「ねえ、私たちのこと意識し過ぎなんじゃない？」

あのダグトリオを倒した時なんて、タイプ相性とかセオリーは完全に無視で、

ぽちゃピカのことを信じた作戦で勝ったじゃない、と。

アカリの言葉にハッとさせられるライト。

早く上達しなきゃと焦るあまり、攻略とか近道ばかり考えていた。

自分が注意して、心を寄せなくてはいけないのは・・・

一緒にバトルしている相棒、ぽちゃピカなのに！

「ありがとう、アカリ！」

その結果、バトルスキルがメキメキ上達していくライト＆ぽちゃピカのコンビ。

そんな二人に「いい感じね」と称えつつ、内心モヤモヤが増していくアカリ。

[20] ライトとぽちゃピカ

特訓後。疲労困憊だが、充実した気分を感じるライト。

独白の様に、ぽちゃピカに話しかけるライト。

「全然知らなかったや・・・この感じ」

満足気なぽちゃピカに、ジジの話をするライト。

「ジジさんってみんなに好かれてたんだな・・・」

俺も、昔会ったあの時、もっとちゃんと話してみれば良かった。会ってみたいな」

ジッとライトの言葉を聞いているぽちゃピカに気づき、

「・・・ごめん・・・一番会いたいのはお前だよな・・・」

育て屋にいる時、お前のこと見てるつもりで全然見てなかったんだな、俺。

もっと早くお前の寂しさに気づいてあげられたらよかった・・・とライト。

「お前のゲシゲシは構ってほしいサインだったんだな」

照れ隠しのようにゲシゲシするぽちゃピカ。

ライト「いいよ、好きなだけゲシゲシして」

ぽちゃピカ「ピカピカ！」

ライト「うんうん・・・」
ぽちゃピカ「ピカピカピカァ！」
ライト「いやごめん痛い！ 流石に痛いよ！ やめやめやめて！」
ぽちゃピカ「ピカピカピカァ！」
ゲシゲシをやめないぽちゃピカ。逃げ回るライト。
心から楽しそうな一人と一匹。

[21] アカリの特訓

一方、全然うまくいかないアカリとフシギソウとのコンビネーション。
昔は兄・ジジにバトルの仕方を教えてもらっていた。
その兄は、もう、いない。
「お兄ちゃん・・・なんで・・・」
ジワッとその目に涙が滲む。が、すぐに、
「だめだ、私に泣く資格なんてない・・・」
（兄のことを心底信じてあげられなかった自分を責めている）
そこに来てくれるシン。
シン「やるか、やらないか。選択肢はそれだけだよ」
アカリ「・・・やる！」
ジジの代わりに、優しくも厳しくバトルの手解き。
必死に特訓のアカリ。
しかし、兄への複雑な思いから信じる気持ちがわからず、
相棒であるフシギソウのことを信じ切れていないアカリは、
なかなかうまくコンビネーションが築けない。
アカリ「・・・」
シン「・・・少し休憩にしようか」

休憩中、アカリに新しい情報を伝えるシン。
ミュウのエンカウトを時系列ごとに分析してみた。
最初の発生は、セキチクシティあたりからシコンシティに至るルートの様だった。
その後、例のニュースでも取り上げられたシコンシティ各地での大発生があり、
昨日からは、カントー地方各地へエンカウトの発生が拡大、
直近では再びシコンシティでのエンカウトが増えている。
これが意味することがわかるかい？とシン。
アカリ「それって・・・」
シン「そう、ミュウのエンカウトはライト君の動きに連動して発生している。
すなわち、ライトの持っているジジボールにミュウが入っているということだ」
君はライト君に嘘をつかれていたんだよ、と残酷に告げるシン。
ライト君はギルと繋がっているのかもしれない、とも。

アカリ「・・・そんな」
シン「君が信じるのは・・・僕？それとも彼？」
答える代わりにジッとシンを見つめるアカリ。

[22]『キズナフェス』開催。そして作戦開始

『キズナフェス』の開催当日。
フェスの開催に沸くシコンシティ各所、
ミュウの仮装をしてミュウを探しているトレーナーのフィーバー、などの点描。

× × ×

ポケモンセンターに隣接するスタジアムでは、
ガラル地方からチャンピオンのダンデと、ジムリーダーのキバナを招いての
エキシビジョンマッチが始まっている。
(*ダンデ VS キバナ戦はサービス部分として、1ターンのわざの応酬などをオンでしっかり見せる。観客席にはタケシ、カスミ、ダイゴ、シロナなど各地のトレーナーの姿も)

× × ×

シン「二人とも、準備はいいかい？」
深く頷くライト。一方、アカリ表情は暗い。
作戦の時間、場所にギルを誘き出すためのアクション開始。
(例えば、SNSや街頭ビジョンを駆使し、ジジボールを使い、ギルだけにわかる様なメッセージを出す、など)

× × ×

裏路地で、ライトたちのアクションに気付くギル。
ギル「・・・」

[23]ギル現る

ポケモンセンターの最上階。
主催者シンによるセレモニーの開会まであとわずか。
ギルを誘き出すべく、球体の会場に繋がる廊下で待つライト。
メッセージは届かなかったか・・・と、そこに現れるギル。
ギル「ジジのモンスターボールを渡せ」
ライト「いやだ。これはプニ助とジジさんの絆の証だ」
ギル「違う・・・大人しく渡せばお前を傷つけることはしない」

ライト「そんな言葉、信じられないに決まってるだろ！ あんたがジジさんを殺したって聞いた！　ずっとずっとアカリを傷つけ続けてるじゃないか！！」

ライトの言葉に悲しげな表情をするギル。

まだ。またあの顔・・・と気になるライト。

ギル「そうか・・・ならば仕方がない・・・」

リザードンを出し、攻撃を仕掛けてくるギル。

特訓の成果もあり、しっかり対応出来ているライト。（しばし攻防あり）

ギル「！？　やるな・・・では、これでどうだ！」

最大級の攻撃を受け、ぽちゃピカもろとも吹っ飛ばされるライト。

ジジボールが転がり落ちる。

それを拾ったのは・・・アカリだ。

ホッとするライト。

ジジボールを返してもらおうとアカリの方に手を伸ばすが・・・

シン「アカリ！」

登場するシン。

シン「それを持っておいで」

言われるまま、ジジボールをシンに渡しに行くアカリ。

ギルはジジボールを求めてアカリを襲う！

しかし、シンがカメックスを繰り出し、ガード。

組み合うリザードンとカメックス。

シンはギルに何やら囁いた後、カメックスに攻撃の指示。

ギル「くっ・・・」

攻撃の向かう先はギル・・・ではなく、なんとライト。

ライト「え！？」

ライトを庇ってシンポケモンの攻撃をまともに受けてしまうギル＆リザードン。

なぜギルが自分を守ったのかわからないライト。

シン「見たかいアカリ。これでわかっただろう？」

やはりギルとライトはグルだったのだとアカリに説明するシン。

ライトに騙されていたのだと思い込むアカリ。

アカリ「馬鹿だな、私。でも、もう間違えない・・・！」

シンにジジボールを渡すアカリ。

それを手にしたシン、カメックスの最強の技でリザードンとぽちゃピカを攻撃、二体はダウン寸前。

アーボックが巻き付いたり、虫系ポケモンの「いとをはく」などで、

ライトとぽちゃピカ、ギルとリザードンを拘束。

シン「アカリ、ここは頼む」

アカリ「はい」

シン、ジジボールを持って会場に入り、ステージに向かう。

シンの登場に、会場にいる１００人程の観客たちが大歓声をあげると同時に、世界に向けてライブ配信がスタート。

× × ×

世界各地。

はじまったライブ配信を見ている人々の様子。

配信画面には、世界中の人間からのテンション高いコメントがポップアップする。
(たくさんの情報が流れているイメージ)

× × ×

シン「この『キズナフェス』は今年で５回目。

最初はこのポケモンセンターを使った小さなイベントでしたが、
いよいよ今年は、シコンシティ全体を使った大きな祭にすることが出来ました。
これも皆さんの協力のお陰です
今回はさらに、サプライズで進めていた・・・幻のポケモン・ミュウ披露の
イベントもあります！」

沸く観客たち。

ここに集まったのは、シン自らが厳選し、招待状を出した「選ばれし者たち」だ。

シン「それではミュウお披露目・・・といく前に、少し昔話にお付き合いください」
「？」の観客たち。

シン「ジジという男の話です」

ギル「シン・・・」

ギリッとなるギル。

[24] シンの復讐

かつてミュウをゲットしたと世間を騒がせ、その後、

自らミュウゲットは嘘だったと発表し、「ウソツキ」呼ばわりされ死んだ男・ジジ。

しかしジジのミュウゲットは真実だった。

ざわつく観客達。

シン「その証拠に、ここにあるジジのポケモン図鑑には、ミュウゲットの証が刻まれています。そして・・・」

アカリから受け取ったジジボールを掲げ、

シン「この中にミュウがいるのです・・・！」

うおおー！と盛り上がる観客達、早くミュウを見せろ！と目の色を変える。

そんな観客達を冷めた目でみながら、ジジボールを開けるシン。

(ジジボールが何故開くのか？ 実は壊れていたのではなく、シンとギルがジジのために

作った特別製で、開けるためにはギミックやちょっとしたコツがあった、など一考)
しかし・・・中にミュウはいない。

シン「・・・な、に・・・」

モンスターボールを投げ捨て、狂気の顔を見せるシン。

シン「・・・真実はいつもこの手からすり抜ける・・・。

だが・・・僕は確実な真実も掴んでいる」

シンは語る。

ジジは SNS や物理的な迫害(家など)を通じて精神的に追い込まれ、自死に追いやられた。
中でも悪質なものはミュウ過激派ともいえる SNS コミュニティの者たち。

彼らの悪質な投稿や行為が、周囲の正義中毒を助長させた。

だから自分は、ジジの死から7年をかけて、SNS でジジを自死に追いやったアカウントの
身元を徹底的に洗い出し、彼らを一か所に集めるために、フェスという入れ物と、
彼らが追い求めてやまないミュウという餌を用意したのだと説明。

シン「そう・・・ここにいる者たちがジジを殺した」

「何を言ってるんだ!?!」「俺たちは殺していない!」「あいつが勝手に死んだんだろ!!」
と観客たち。

シン「勝手に・・・か。はは、確かにそうかもしれないね。

でも、じゃあ・・・僕も勝手にやらせてもらおうか」

言い放ち、起爆スイッチを押すシン。

と、ポケモンセンターの一部が爆発。

シン「命を奪った罪は、命で償わなければいけない」

このままでは殺される!?!と青ざめる多くの観客たち。

爆発とともに現れたシンのポケモンたちに囲まれて動くことは出来ないが、
その目を盗み、自分だけでも助かろうと行動を起こす一部の観客たち。

× × ×

ロビーのアカリたちにも映像は見えている。

狂気のシンを目の当たりしにてショックのアカリ。

アカリ「シン兄、や、めて・・・こんな怖いこと・・・」

一瞬の隙をつき、脱出し、会場へ向かうギル&リザードン。

アカリ「!?!」

× × ×

シン「選択しろ。助かりたければ・・・」

手持ちポケモンを置いていけ。とシン。

しかし、己の命惜しさにポケモンを捨てて逃げるその醜い姿は全世界に配信される。

ここから出た後、お前達の人生はどうなるかな・・・。
シン「もしかしたら、お前達も勝手に死んでしまうかもしれないね」
さらに起爆スイッチを押そうとするシン。
そこへギルがやって来る！

ギル&リザードン VS シン&カメックス。
バトルをしながら、互いの熱い想いをぶつけあうシンとギル。
タイプ相性的にギルが劣勢気味。
ギル「やめろシン！」
シン「・・・ギル、君はここに呼ばれた意味をわかっていないのか？」
ギル「っ・・・」
シン「さあ、全世界が見ている。白状するんだ・・・君が、ジジを殺した人間だと」
ギル「・・・」

[25] 決意のライト

ライトの混乱。
味方だと思っていたシン、敵だと思っていたギル。しかし・・・
ライト「どうなってるんだよ、俺は、どうすれば・・・」
ぽちゃピカ「ピカピカァ！！」
ぽちゃピカの声で、ハッとギル&リザードンの姿を見るライト。(映像越し?)
ギル&リザードンは、己が傷つくことも構わず、観客を守りながら戦っている。
さっきも・・・シンのポケモンの攻撃から、自分たちを守ってくれた・・・。
グッと胸の前で手を握り、今、信じるべき相手はギルだと覚悟を決めたライト。
ライト「行こう！ピカチュウ！（プニ助？）」
ぽちゃピカ「ピカァ！！」
ライト「アカリ、ごめん！」
アカリの際をついて拘束から脱出、フシギソウに一撃を叩き込んで、会場へ走る。
ライト以上に混乱しているアカリには、その姿を見送ることしかできない。
アカリ「ライト・・・」

× × ×

ギルに加勢するライト&ぽちゃピカ。
ライト&ぽちゃピカ VS シン&カメックス。

バトルの中で、どんどんコンビネーションが良くなっていくライト&ぽちゃピカ。
しかし、タイプ相性を感じさせないほどにシンは強い。
敵わず、何度も何度も吹っ飛ばされるライト&ぽちゃピカ。

ライトは誰が見ても限界の様子・・・だが、何度も何度も立ち上がりシンに向かっていく。
決して心折れないライト。

さっさと逃げればいいのに。なぜ、まだここに留まる？

君は何も関係ない人間だろう？とシン。

確かに、俺はあんたたちとは何の関係もない。でも、ジジさんとの約束がある。

ライト「こいつのことを頼まれたんだ！」

ぽちゃピカはずっとずっとジジのことを待ち続けて、

それでやっと会えるってなったのに会えなくて・・・

こいつの心はずっとずっと泣いてる！

育て屋として牧場に一緒にいた時は、仕方ない、俺には何もできないしって思ってた。

でも・・・ここに来て、俺にも何かできるかもって思い始めた。

でっかいことはまだ無理かもしれない。

「でも、でも・・・隣にいるやつくらいは笑わせたいよ！！」

ポケモンのことを想い、シンへ強い眼差しをまっすぐに向けるその姿に、

ジジの姿が重なり、ハッと目を見開く、ギル、そしてシン。

ぽちゃピカも、ライトをジッと見つめ・・・ゲシッと一発蹴りを入れる。

その蹴りに背中を押されたように・・・最後の力を振り絞るライト。

そんなライトにシンクロするぽちゃピカ。

シン&カメックスに改心の「10まんボルト」を食らわす！！

なんとかシン&カメックスを倒したライト&ぽちゃピカ。

敗北を認めるシン。

[26] シンの真実

己の知っている真実を話すシン。

ジジがミュウをゲットしたという初報を出してしまったのはシン。

それがあんな悲劇を生むとは思わなかった。

ジジの死の現場に誰よりも早く駆け付けたシンは、復讐を誓う。

ジジを追い込んだ者たちに。ジジの死を止められなかったギルに。

そして何よりも自分自身に。

ジジが転落した高層ビルの工事現場、それが現在のこのポケモンセンターであり、

だからこそ復讐の舞台として選んだことも・・・。

シン「一番報いを受けるべきは、この僕だ」

死ぬ覚悟を決めているシンを理解するギル。

[27] 暴走する観客

自分だけが逃げるために行動する一部の観客たちの暴走で、

保管されていた爆薬に刺激が与えられ、次々と爆破が始まる。

ギル「ライト、アカリを頼む！」
ライトはアカリの元へ急ぎ、
分断されるシン&ギルと、ライト&アカリ。

[28] ギルの真実。そして・・・

ギルは、死の直前のジジから連絡を受け、全てを聞いていたことを語る。
ミュウの居場所も聞き、ミュウとアカリを守って欲しいと頼まれていたと。
シン「なんで・・・お前にだけ・・・」
ギル「お前の後悔を知ってたからだよ」
ジジはシンの後悔をわかっていた。
だからこそ、これ以上追い詰めたくない、真実をギルのみに伝えたのだ。
シン「なんで・・・自分がそんなになってるのに、なんで僕まで守ろうとしてくれるんだ
よ・・・」
ギル「なんで？ ハッ！ 理由なんてないって知ってるだろ。ジジはそーゆー男だ」
そしてギル自身も、ジジと同じ気持ちだと告白。
ジジは親友だ、そしてお前（シン）も親友だ。
俺はもう、親友が苦しむ姿は見たくない。
お前が苦しまないのであれば、俺はジジ殺しをしたと思われ続けてもよかった。
ギル「帰ろう、シン」
シンに差し出されるギルの手。しかしシンはその手を取らない。
シン「僕にその手を取る資格はない、僕にはもう帰る場所なんてない・・・！」
そう言うシンを思いっきり殴るギル。
グラッとなったシンの手を無理やりつかむギル。
ギル「お前に資格がないってんなら、俺が掴んでやるよ。帰る場所なんて・・・これから、
何度でも、作りゃあいいだろ・・・！」
シン「っ・・・」
ギル「一人で生きてるなんて、おごってんじゃねえぞ・・・！」

[29] アカリの覚醒

「アカリ！」
アカリの元に駆け付けるライトとぽちゃピカ。
その無事を確認すると、シン&ギルを助けないと、とライト。
続け様に明らかになる真実、知らなかった衝撃の出来事に打ちのめされているアカリ。
ライトに向かって心の内を吐露する。
心のどこかで、みんなと同じように、兄はウソツキなんだと思っていた。
自分が『ウソツキの妹』と呼ばれ辛い思いをしたのは兄のせいだ。
大好きだった兄への憎しみが大きくなってどうしようもなかった。
兄のことも、自分のことも・・・何もかもが信じられなくなってこの街から逃げた。

無理にでも笑って、明るい自分を作り上げて生きてきた。
アカリ「だけど、だから、シン兄いのことはちゃんと信じようって思って・・・でも・・・
もう何を信じたらいいかわかんないよ！！！」
大粒の涙をポロポロと流すアカリ。
アカリの本当の心を知ってショックなライト、すぐにはかける言葉を見つけれない。
そこに、会場の一部が崩れ落下してくる！
ライト「危ない！！」
アカリが死を覚悟したその時、フシギソウが身を挺してアカリを助ける。
次々と落ちてくる瓦礫。
ライトはぼちゃピカに指示し弾いていくが追いつかない。
そこに今までで最大の瓦礫が迫る。
今まで一度もできなかった大技（あればフシギバナにしか使えない技？）
を放とうとするフシギソウ。
無理だよ・・・とアカリ。
何かを訴えるようにアカリを真っ直ぐ見つめ続けるフシギソウ。
俯いているアカリはフシギソウの視線に気づかない。
ライト「アカリ！ 俺に教えてくれたのはアカリだろ！」
アカリが今ちゃんと見なきゃいけないのは、床に落ちる涙のシミでも、
過去の後悔でもないんじゃないか！？とライト。
ライトの言葉にハッとし、顔を上げるアカリ。その視界に入ったのは、
己が傷つくのも構わず守ってくれたフシギソウ。
アカリ「っ・・・ごめん、こんなひどい怪我させて・・・ごめん、ううん、ありがとう・・・」
フシギソウを抱きしめ・・・フシギソウを信じ、指示を出すアカリ。
フシギソウ、フシギバナに進化！
大技を放ち、ピンチを乗り越える。
進化したフシギバナの凛々しい姿に背中を押され、立ち上がるアカリ。

[30] ユナイト

ポケモンセンターの外では、街の人々の避難誘導をするダンデ、キバナ、タケシ、カスミ、
ダイゴ、シロナなどのトレーナーと、そのポケモンたちの姿。
続く大爆発で、屋上を含む高層階部分（シン＆ギルがいる場所）が破壊され、
今にも地上に落ちてきそう。
ダンデ「まずいな」
キバナ「あれが落ちてきたら、ひとたまりもねえぞ」
あれが崩れ落ちたらシコンシティ全体に大きな被害が出る。
破壊をなんとか止めようと力を合わせる一同！

[31] 迫る最大の危機

シン&ギルを助けようと急ぐライト&アカリ。

力を合わせて、シン&ギルを助けられると思ったその時・・・最後の崩壊！

シン&ギルが空中に放り出される。

・・・が間一髪、ポケモンに乗ったライトとアカリが二人をキャッチ。

（アカリの乗るピジョットの他に、ライトが乗れる大きなポケモンが欲しい。アカリの手持ちに入れておく。ゲンガーとか？）

ほっとしたのも束の間、ポケモンセンター全体が倒れる。

自分たちは勿論、シコンシティの人々やポケモンたちが危ない。

が、これほどの巨大な落下物を止めるすべがない。

みんなが・・・ポケモンが傷つくなんて・・・やだ・・・。けど・・・。

さっきアカリに偉そうなこと言たくせに・・・俺にはどうにかすることなんてできない。

絶望しかけるライトだが、気力を振り絞り、諦めない。

「それでも！！ 俺は・・・（諦めない！）」

ぽちゃピカ、そんなライトの姿を見て・・・

——ぽちゃピカ視点でのジジとの過去回想。

深く傷ついてしまったパートナーのぽちゃピカを抱き、走る傷だらけのジジ。

「（俺は・・・）諦めない！ 絶対にこいつを助けてやる！！」

清く、強い願いの声を聞いて・・・ジジの前に現れるミュウ。

その力（いやしのはどう など）でぽちゃピカを助ける。

× × ×

お遊びでぽちゃピカに化けるミュウ。お気に入りのジジをゲシゲシ蹴る。

× × ×

モンスターボールに入ってみること自体に興味津々のミュウをゲットするジジ。

× × ×

[1]のシーン。

7年前、ジジ&ぽちゃピカ、幼いライトのシーン。

ジジ「必ず迎えに来る。それまでその姿でライトと一緒にいてくれ」

コクリと頷くぽちゃピカ（＝ミュウ）。

ジジ「またな」

そう言ってにっこりのジジ。

——戻って、

ぽちゃピカ「ピカピカァ！！」

ぽちゃピカ、その真の姿を現し、ミュウの姿に！

驚愕のライト。そんなライトににっこり微笑むミュウ。

ライト、ミュウがみんなを助けようとしていることを感じ、コクリと頷く。
ライト「頼む、ミュウ！ いけ——————！！」
全身全霊で叫ぶライト。
強力な技で落下する高層部分を破壊するミュウ。
だが残骸が地上へと降り注ぐ！
それをアカリ、観客、ダンデやキバナなどのトレーナーたちと、
そのポケモンが一致団結、協力して破壊し、被害は最小限に抑えられる。
ライト「やった！！」
ふっと気を抜いたその時、爆発が起こり、ダメージを受けるミュウ。
落下していくミュウへと手を伸ばすライト。
しかしギリギリ届かない。
と、次の瞬間、シンがミュウの方へダイブ！
ミュウをキャッチし、ライトの方へ投げる！
ライト、ミュウをキャッチして救出。
一方、落ちていくシン。
追いかけようとするライト、アカリ。
しかしそこに爆発！爆炎に阻まれシンを追えない。
フッと笑みを浮かべ爆炎に飲み込まれるシンの姿で――

[32] 事後処理

事後処理が行われているポケモンセンター。
警察や消防らしき人々の姿。ダンデ&キバナらの姿、など。

[33] ジジの墓

事件後、命日の内にと、ジジの墓参りにやって来たアカリ、付き添うライトとギル。
墓標には既に花が置いてある。
置いたのはギルでもアカリでもない。では誰？
(手向けたのはシン。事件の前なのか、生き延びた後なのかはわからない様な見せ方で…)
ライト、アカリの了承を得て、ぽちゃピカ(＝ミュウ)を野生に返す。
ライト「じゃあな」
ぽちゃピカ「・・・」
何度も振り返るぽちゃピカ。ついには立ち止まってしまう。
そんなぽちゃピカに、
ライト「いいんだよ・・・もう、好きなことして」
ライトの言葉を聞いて・・・ミュウの姿に戻り、空に向かい飛び去っていく。

[34] プロローグ① 皆のその後

――ライトのモノログなどで、皆のその後の説明。

シンの死体は発見されなかった。

ギルはアカリの家となっているポケモントレーニングジムを復活した、など。

フシギバナとのコンビネーションでジムリーダーのグリーンを倒し、

8つ目のバッジをゲットしたアカリ。

ギル「ジジは、いつまでもフシギバナにならないそいつを面白がってたよ。こいつは何か
を待ってるみたいだ！ってな。待ってたのは・・・アカリだったんだな」

心からの笑顔を見せるアカリ。

[35] プロローグ② ライトの旅立ち

世の中の物事には色々な面があって、

本当の事は自分の目と心で感じてみなきゃわからないと知ったライト。

可能性を狭めずに、もっと広い世界を見てみたい、とおじいちゃんに語る。

おじいちゃん「旅に出るにしちゃ、随分荷物が少ないな」

ライト「うん。けどこれから増える予定！」

旅立ちの日、ライトの進む道の先には、ぽちゃピカの姿。

ライト「！・・・ははっ」

ぽちゃピカ「ピカピカ！！」

モンスターボールをグッと握り締め・・・

人生で初めてのゲットをしようとモンスターボールを投げるライトの姿――

(SE：一回揺れで・・・カチッ！！)

【終】